



**FIELDING**

第**48**期 事業報告書  
(平成15年4月1日～平成16年3月31日まで)

**NEC** NECフィールディング株式会社

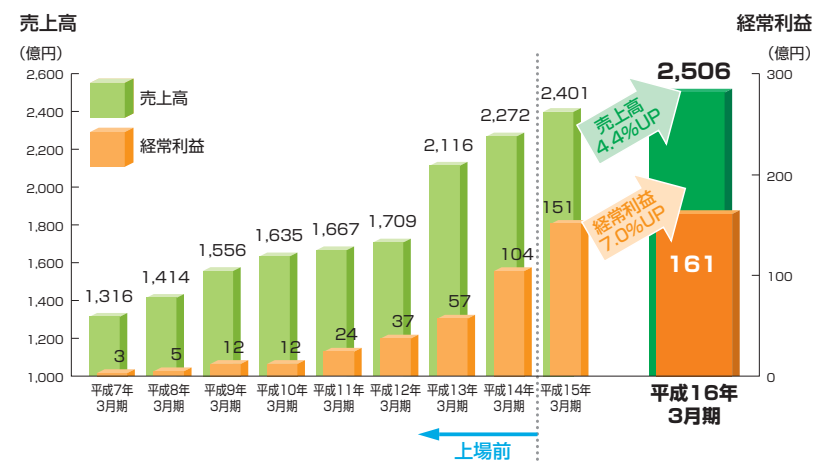
証券コード：2322

## 9期連続の増収増益を達成

今期の連結ベースの売上高は250,677百万円（前期比4.4%増）、営業利益は16,139百万円（同6.5%増）、経常利益は16,174百万円（同7.0%増）を達成いたしました。また厚生年金基金代行部分返上益を特別利益に計上したことにより、当期純利益は12,477百万円（同53.3%増）となりました。

また、連結財務指標は、ROE；株主資本当期純利益率は27.1%（同0.3ポイント増）、ROA；総資本経常利益率は13.3%（同0.2ポイント増）を達成いたしました。

9期にわたる売上高、経常利益の推移は下図のとおりであります。



## 株主の皆さまへ――

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第48期の事業をご報告するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社の事業領域であるITサポートサービス市場は、オープン化の進展やデフレ環境に影響された低価格志向の強まりを背景に、受注競争が激化いたしました。

このような事業環境のなかで当社は、従来どおり、お客さま満足度（CS；Customer Satisfaction）向上を経営の基軸と位置付け、CSを左右する要素をマネジメントしながら事業を展開してまいりました。

その結果、9期連続の増収増益を達成することが出来ました。

また、企業としての社会的責任（CSR；Corporate Social Responsibility）を果たすことを目的として、平成15年6月にCSR委員会を設置いたしました。当社を取り巻くすべてのステークホルダー（顧客、株主、従業員、社会）の期待に応えるため、CSR委員会ではガバナンス／アカウンタビリティ、マーケット、雇用、社会および環境の5つの領域で活動指標を設定し、実現すべき具体的な目標を持って活動



を開始いたしました。

なお、1株当たりの投資金額を引き下げ、株式の流動性向上と投資家層の拡大を図るため、平成16年3月31日を株式分割基準日とし、平成16年5月20日をもって1：2の株式分割を行いました。

第49期におきましても、CS戦略・成長戦略・CSR戦略・人材戦略の4つの経営戦略を展開して、長期間にわたり安定・堅実に成長し、社会から評価される良い会社を目指してまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **富田 克一**

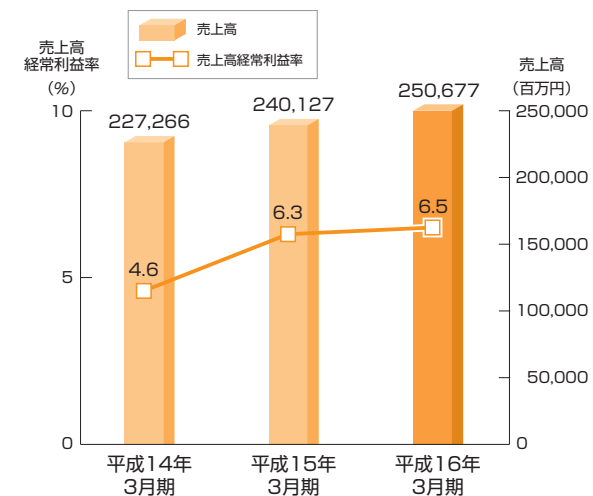
## Contents

ハイライト	1
トップメッセージ	2
主要指標の推移	3
トピックス	5
営業の概況	9
平成17年3月期の事業展開	11
連結財務諸表	13
単体財務諸表	15
株式の状況	16
会社概要	17
株主メモ	18

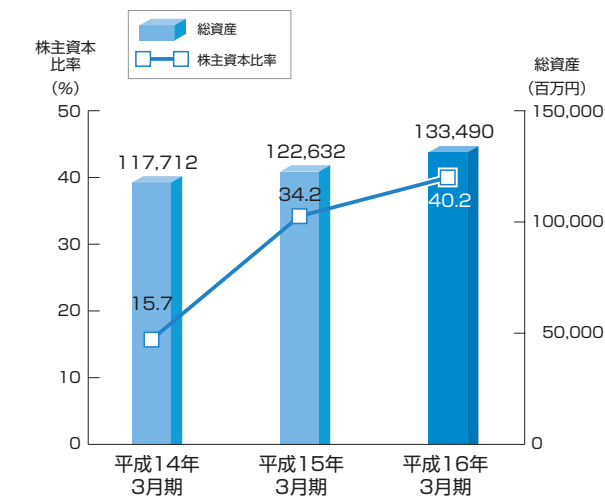
# 主要指標の推移

		平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
売上高	(百万円)	227,266	240,127	250,677
営業利益	(百万円)	10,659	15,160	16,139
経常利益	(百万円)	10,466	15,122	16,174
当期純利益	(百万円)	5,672	8,140	12,477
総資産	(百万円)	117,712	122,632	133,490
株主資本	(百万円)	18,530	41,891	53,650
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	256.44	318.66	456.83
1株当たり株主資本 (BPS)	(円)	786.35	1,536.17	1,966.67
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	3,466	12,976	6,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 578	△ 906	△ 1,989
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 2,132	△ 9,537	△ 937
従業員数	(人)	7,141	6,994	6,953
保有資格数	(資格)	19,520	22,151	25,016

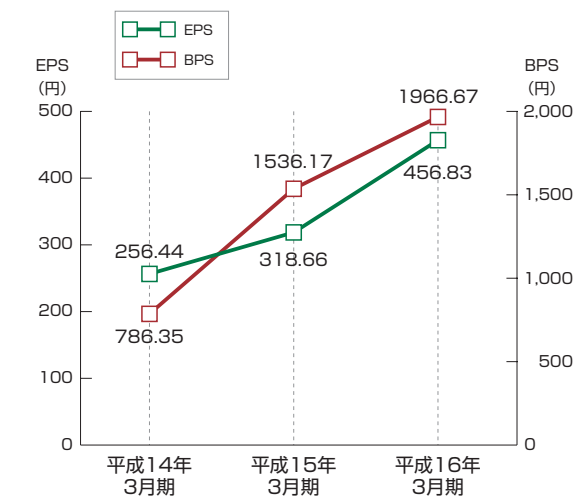
## 売上高・売上高経常利益率



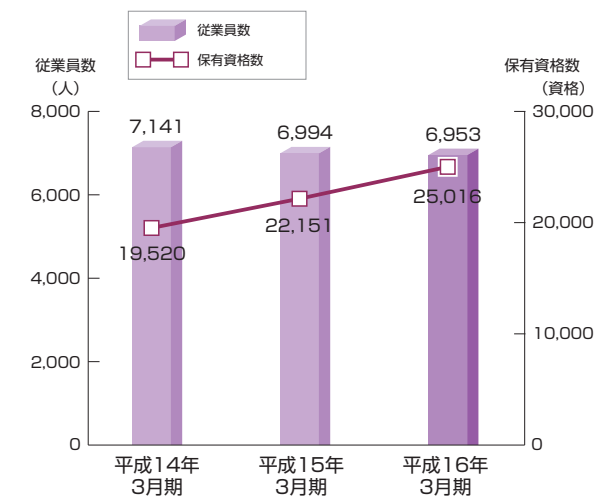
## 総資産・株主資本比率



## EPS・BPS



## 従業員数・保有資格数



## 》》経営への評価

1993年から、経営の変革という視点で「顧客本位」、「独自能力」、「社員重視」、「社会との調和」について、様々な経営革新活動を進めてまいりました。

### 2003年度「日本経営品質賞（大規模部門）」受賞

【財団法人社会経済生産性本部】 **2003年11月**  
1997年から導入した経営品質向上プログラムに基づく活動が評価され、2003年度「日本経営品質賞（大規模部門）」を受賞いたしました（2003年度は当社のみを受賞）。



Japan Quality Award  
2003 Winner

#### 表彰理由（財団法人社会経済生産性本部報告より）

NECフィールディング株式会社は、変化の激しいIT産業のサポートサービス事業領域において、新しい価値を創出するサービスプロバイダーへ変革することを進むべき方向性として明確にするとともに、その実現に必要な経営システムをバランスよく構築しながら堅実な経営を行い、業界トップレベルの優れた顧客満足と業績を獲得している。

特に「CSを基軸とした経営」の実現に向けた多面的活動は、CE\*が存分にサービス提供できる環境づくりの努力のもと、業務への強い貢献意欲を持ち、いきいきと働く社員一人ひとりに支えられながら着実かつ継続的に実施され、顧客との信頼関係を強化している点で、高い評価が得られた。

\*CE Customer Engineer：カスタマエンジニア

### 第7回環境経営度調査（非製造部門）第1位獲得

【日本経済新聞社】 **2003年12月**  
環境マネジメントシステムを構築し、全拠点、全従業員が同一水準で取り組んだ環境経営活動の結果、非製造部門で第1位を獲得いたしました。

## 》》CS向上活動への評価

1992年から本格的にCSの向上に取り組み、以来10年以上にわたって「CSを基軸とした経営」を実践し、組織的なCS向上活動を継続して推進してまいりました。

### 第8回「顧客満足度調査」第1位

【日経コンピュータ誌】 **2003年7月**  
システム運用関連サービス（情報サービス会社）  
顧客満足度第1位の評価を獲得いたしました。

### 2003年ソリューションプロバイダー顧客満足度調査第1位

【J.D. パワー アジア・パシフィック社】 **2003年12月**  
トラブル対応力、運用・管理能力、問合せ対応力、バージョンアップ対応力、トラブル頻度、コスト、業務理解力の7つの領域からなる総合評価で顧客満足度第1位の評価を獲得いたしました。

## 2年連続No.1



システム運用関連サービス（情報サービス会社）

顧客満足度No.1  
日経コンピュータ(2003年7月28日号)  
第8回顧客満足度調査

## 2年連続No.1



2002年～2003年  
ソリューションプロバイダー顧客満足度調査™  
2003年調査は従業員100名以上の企業  
3,016社からの回答による。  
www.jdpower.co.jp

## サービス品質への評価

グローバル水準のサービス品質の提供を目指して、サービス品質管理に取り組んだ結果、各種の認証を取得いたしました。

### COPC-2000®規格取得

【米国COPC社】 2003年4月  
米国のマルコム・ボルドリッジ国家品質賞基準のフレームワークをもとに、コールセンター業務に特化して米国COPC社が設定した品質保証規格COPC-2000®を取得いたしました。



### ISMS\*認証基準取得

【財団法人日本情報処理協会】 2003年11月  
国際的に整合性のとれた情報システムのセキュリティ管理に対する第三者適合性評価制度で、当社の「iSolution さいたま」が提供するアウトソーシングサービスでISMS認証基準を取得いたしました。



JQA-IM0119  
ソリューションビジネス推進本部  
iDC推進部

\*ISMS Information Security Management System : 情報セキュリティマネジメントシステム

### HDI組織認定取得

【米国ヘルプデスク協会】 2004年3月  
HDI組織認定は、①サービス品質の向上②業務効率の向上の実現を目標として、サポートサービス業界の国際機関である米国ヘルプデスク協会が定めた制度で、当社の「ヘルプデスクソリューションセンター」が認定を取得いたしました。



## 事業の成長、収益の拡大

事業の成長と収益の拡大を推進する施策として、NECグループとの連携強化、営業体制の強化、他ベンダーとの業務提携を行いました。

### NECグループとの連携強化、営業体制の強化

【NECグループとの連携強化】 2004年1月  
「ITネットワーク統合ソリューション」の提供拡大とCSの向上を目的として、NECの音声系顧客に対して、情報システムと音声データネットワークを一元的に対応する統括コールセンターを設立いたしました。更に、ロジスティクス（物流）の一元化、保守品質管理システムの統合を行いました。

【営業体制の強化】 2003年5月  
全国に展開するお客さまへの対応力強化と営業力強化を目指し、NECグループとの連携強化の一環として、東京と大阪にサービス営業本部を発足いたしました。

### 他ベンダーとの業務提携

【サン・マイクロシステムズ社と業務提携】 2003年6月  
マルチベンダ対応力の更なる強化を実現し、サポートサービス事業の拡大を目指して、サン・マイクロシステムズ社とサポートサービス分野で業務提携することに基本合意し、同社製品の保守業務を開始いたしました。

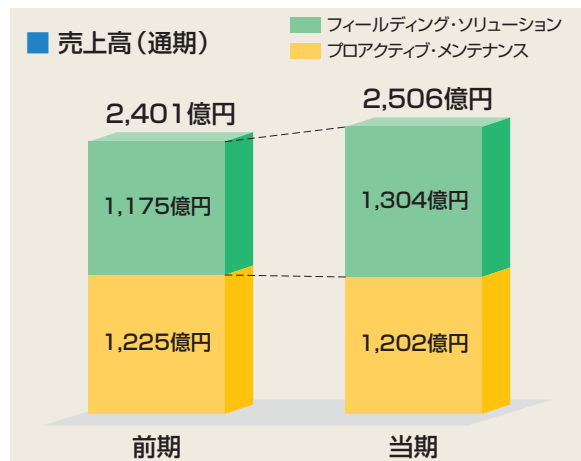
【クアンタムコーポレーション社と業務提携】 2003年10月  
また、クアンタムコーポレーション社とストレージシステムのサポートサービスとロジスティクス（物流）分野で業務提携することに基本合意いたしました。

## 》》当期の概況

当期も、CS向上と業績目標を同時に達成する事業運営を継続して実践し、売上高2,506億円（前期比4.4%増）、営業利益161億円（同6.5%増）を達成し、前期比で増収増益となりました。

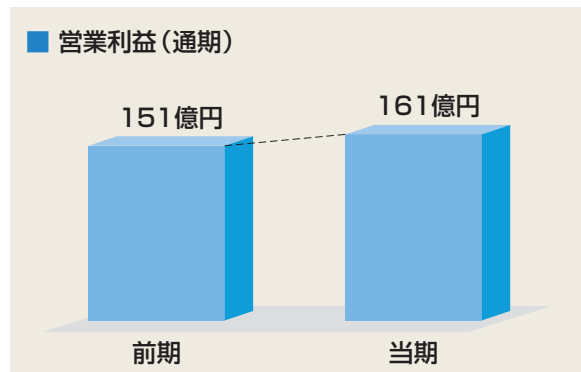
### 売上高

保守対象機器のオープン化が進行したことにより、保守関連での減少がありましたが、顧客基盤の拡大を図り、新規ソリューションメニューを投入してソリューション関連の売上高を2桁成長させ、2,506億円（前期比4.4%増）を達成いたしました。



### 営業利益

受注獲得に向けて営業活動の強化を図ったことにより販売費は増加しましたが、売上高の増加、ローコストワーク活動による売上原価率の改善が寄与して161億円（前期比6.5%増）を達成いたしました。



## 》》セグメント別の概況

プロアクティブ・メンテナンス事業で収益性の向上(営業利益で前期比17.6%増)を、フィールドディング・ソリューション事業で成長性の向上(売上高で同10.9%増)を図る中期計画でのセグメント別戦略を着実に継続、実践いたしました。

### プロアクティブ・メンテナンス事業

売上高の維持、収益の確保を目指した事業運営の結果、売上高は1,202億円（前期比1.9%減）となり、共通費控除前の営業利益は190億円（同17.6%増）を達成いたしました。他社製のITシステムに係る保守やソフトウェアサポート、PC関連のサポート売上が増加しましたが、保守対象機器のオープン化、製品品質の向上による修理件数の減少などにより、当事業

の売上高は減少となりました。一方、ナレッジデータベース（蓄積した膨大なお客さまITシステム構成、ニーズ、障害復旧パターン、保守部品等の情報）を活用したコールセンター品質の向上、保守部材費、修理工数の低減などのローコストワーク活動を進展させ、営業利益率を前期比で2.6ポイント改善させました。

### フィールドディング・ソリューション事業

売上高成長の牽引を目指した事業運営の結果、売上高は1,304億円（前期比10.9%増）を達成し、共通費控除前の営業利益は53億円（同23.3%減）となりました。デフレ環境を背景としてお客さまからの価格低減要請が強まったこと、売上がITシステム機器増設に偏重したことによりプロダクトミックス

に変化が生じ、営業利益率は前期比1.8ポイント低下いたしました。一方、営業力強化と同時に新規ソリューションメニューを9品目投入し、保守契約をいただいているお客さまを中心に積極的にサポートサービスを提案し、売上高の2桁成長を達成いたしました。

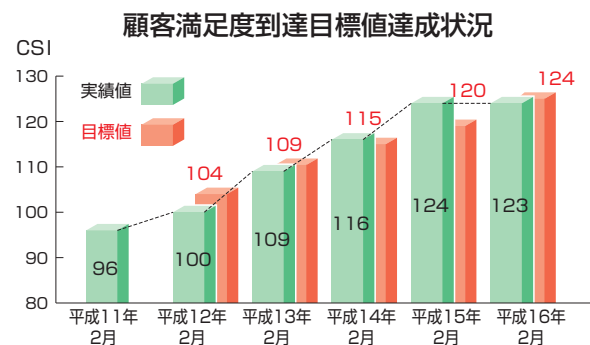
# 平成17年3月期の事業展開

## 経営戦略

当社は、経営基盤を強化して継続的な事業発展に向け、「CS」「成長」「CSR」「人材」の4つの視点で戦略を展開してまいります。

### CS戦略

これまで同様、CSの向上を経営の基軸と位置付け、他社の追随を許さない、世界水準でのCS No.1を目指して、更なる展開を進めます。具体的には、従来から取り組んできた、多岐にわたる可視化したCS指標を向上させる活動に加え、社員一人ひとりの技術力、提案力を高め、お客さまの期待を超える満足を提供してまいります。



CSI (Customer Satisfaction Index;お客さま満足度指標)とは、米国のJ.D. パワー社が開発したお客さまの満足度合いを表す指標。ある時点での業界平均を100として指数化したもの。

### 成長戦略

継続的な成長を維持していくため、サービスの拡充、業務領域の拡大を進めてまいります。具体的には、NECとの連携強化によるネットワーク統合領域でのビジネス拡大、NEC以外のメーカー、ベンダーを始めとした各種パートナー企業との協業推進、契約顧客へのソリューションサービス拡販による売上拡大を大きな柱として事業を推進してまいります。

#### 主要経営指標

	平成14年 3月期	平成15年 3月期	平成16年 3月期	平成17年 3月期(計画)
売上高(億円)	2,272	2,401	2,506	2,620
営業利益(億円)	106	151	161	169
経常利益(億円)	104	151	161	169
ROE(%)	53.0	26.8	27.1	17.5

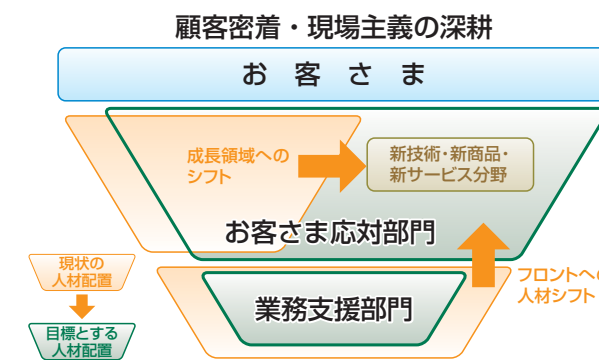
### CSR戦略

CSR活動の基本方針である、「当社は、すべてのステークホルダーの期待に応えうる企業体を目指し、持続可能な社会へのプロアクティブな貢献と、より広義な社会的責任を果たしつつ、より良き企業市民として永続的な成長を遂げ続け、社会との相乗効果を実現する」に基づき、ガバナンス/アカウンタビリティ、マーケット、雇用、社会および環境の5つの領域で目標を設定し、活動してまいります。



### 人材戦略

継続的な成長を実現するために、より高度な技術力を持つ人材を育成するとともに、必要な場所に必要の人材を適正配置していくことで、総合的な人材力をさらに向上させてまいります。特に顧客密着、現場主義の深耕を目指し、業務支援部門からお客さま対応部門へ、より成長度の高い領域への人材シフトを推進し、お客さま対応要員の増強を図ってまいります。



# 連結財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成15年 3月31日現在	当期 平成16年 3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	104,061	110,312
現金及び預金	5,318	3,864
関係会社預け金	—	5,500
受取手形及び売掛金	65,752	66,431
たな卸資産	25,814	26,069
繰延税金資産	5,622	7,115
その他	1,581	1,401
貸倒引当金	△ 28	△ 70
固定資産	18,571	23,178
有形固定資産	3,928	5,001
無形固定資産	1,871	2,863
投資その他の資産	12,771	15,313
資産合計	122,632	133,490

### ①流動性分析

現金及び預金ならびに関係会社預け金が増加し、流動資産が前期比6.0%増加しました。一方、支払手形及び買掛金の増加等により、流動負債は前期比

(単位:百万円)

科目	前期 平成15年 3月31日現在	当期 平成16年 3月31日現在
<b>●負債の部</b>		
流動負債	59,122	62,512
支払手形及び買掛金	38,902	42,958
短期借入金	119	—
未払費用	8,460	8,629
未払法人税等	7,235	5,386
その他	4,404	5,538
固定負債	21,618	17,327
退職給付引当金	21,546	17,280
役員退職慰労引当金	65	25
連結調整勘定	6	4
その他	0	17
負債合計	80,741	79,840
<b>●資本の部</b>		
資本金	9,670	9,670
資本剰余金	10,161	10,161
利益剰余金	22,129	33,788
その他有価証券評価差額金	△ 69	30
資本合計	41,891	53,650
負債資本合計	122,632	133,490

5.7%増加し、これにより流動比率は176.5%となりました。

## 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成14年4月1日～ 平成15年3月31日	当期 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日
売上高	240,127	250,677
売上原価	202,038	209,487
売上総利益	38,089	41,190
販売費及び一般管理費	22,929	25,050
営業利益	15,160	16,139
営業外収益	289	203
営業外費用	327	168
経常利益	15,122	16,174
特別利益	184	8,483
特別損失	324	3,166
税金等調整前当期純利益	14,982	21,491
法人税、住民税及び事業税	9,520	9,302
法人税等調整額	△ 2,677	△ 287
当期純利益	8,140	12,477

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成14年4月1日～ 平成15年3月31日	当期 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,976	6,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 906	△ 1,989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,537	△ 937
現金及び現金同等物の増減額	2,532	4,045
現金及び現金同等物の期首残高	2,786	5,318
現金及び現金同等物の期末残高	5,318	9,364

### ②売上高分析

顧客基盤拡大や新規ソリューションメニューの投入などにより、保守サービス売上の減少をカバーし、売上高は前期比4.4%増となりました。

### ③営業利益分析

営業活動強化により販管費は前期比9.3%増となりましたが、売上高の伸長と原価率の改善により、営業利益は前期比6.5%増となりました。

### ④特別損益分析

特別利益の主なものは、厚生年金基金の代行部分について厚生労働大臣から過去分返上の認可を受けたことによる厚生年金基金代行部分返上益であり、特別損失の主なものは、コンピュータ等の急激な技術革新に伴い、当社保有部品の一部に著しい陳腐化が発生したことによるたな卸資産の評価減です。

### ⑤キャッシュ・フロー分析

法人税等の支払が前期比59億97百万円増加したことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは、前期比60億3百万円の収入減となりました。

## 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成15年 3月31日現在	当期 平成16年 3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	102,022	107,539
固定資産	18,493	23,157
有形固定資産	3,899	4,986
無形固定資産	1,861	2,856
投資その他の資産	12,732	15,313
資産合計	120,515	130,696
<b>●負債の部</b>		
流動負債	57,319	60,083
固定負債	21,334	17,032
負債合計	78,654	77,115
<b>●資本の部</b>		
資本金	9,670	9,670
資本剰余金	10,161	10,161
利益剰余金	22,095	33,718
その他有価証券評価差額金	△ 65	30
資本合計	41,861	53,580
負債資本合計	120,515	130,696

## 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成14年4月1日～ 平成15年3月31日	当期 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日
売上高	238,774	248,981
売上原価	201,135	208,280
売上総利益	37,638	40,701
販売費及び一般管理費	22,511	24,632
営業利益	15,126	16,069
営業外収益	263	192
営業外費用	313	164
経常利益	15,076	16,097
特別利益	140	8,480
特別損失	323	3,166
税引前当期純利益	14,892	21,411
法人税、住民税及び事業税	9,500	9,250
法人税等調整額	△ 2,713	△ 280
当期純利益	8,105	12,441
前期繰越利益	575	863
中間配当額	409	409
当期末処分利益	8,272	12,895

## 利益処分

(単位:百万円)

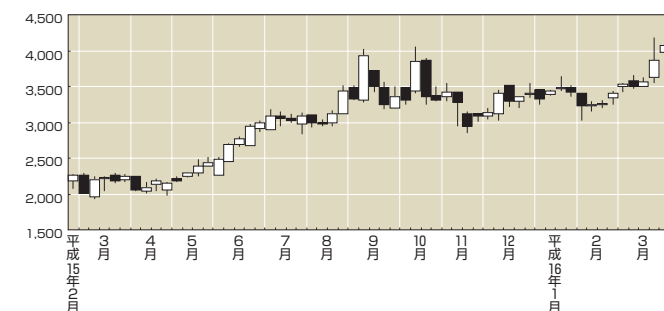
科目	金額
当期末処分利益	12,895
利益処分量	10,928
配当金	409
取締役賞与金	19
別途積立金	10,500
次期繰越利益	1,966

平成16年3月末現在の当社の株式の状況です。

- 発行済株式総数……27,270千株
- 株主数……4,661名
- 主要株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
1 日本電気株式会社	18,300	67.10
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,537	9.30
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,894	6.94
4 NECフィールディング従業員持株会	680	2.49
5 UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	412	1.51
6 資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	151	0.55
7 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	131	0.48
8 三菱信託銀行株式会社(信託口)	104	0.38
9 みずほ信託銀行株式会社(信託Z口)	104	0.38
10 ゴールドマン・サックス・インターナショナル	87	0.31

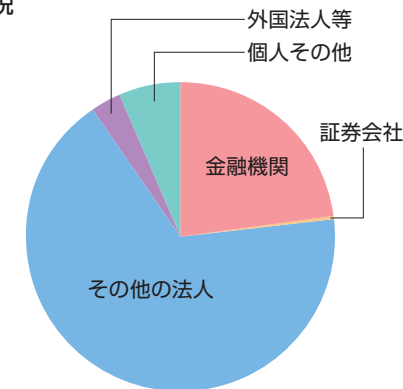
## ■ 株価チャート



(注) 株価チャートについては、株式分割による調整を反映させたものとなっています。

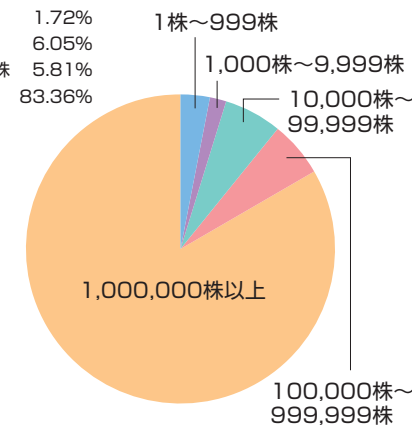
## ■ 所有者別株式分布状況

- 金融機関 22.85%
- 証券会社 0.33%
- その他の法人 67.19%
- 外国法人等 3.16%
- 個人その他 6.47%



## ■ 所有株数別株式分布状況

- 1株～999株 3.06%
- 1,000株～9,999株 1.72%
- 10,000株～99,999株 6.05%
- 100,000株～999,999株 5.81%
- 1,000,000株以上 83.36%



## ■ 株式分割について

- 株式分割の目的  
1株当たりの投資金額を下げ、株式の流動性向上と投資家層の拡大を図ることを目的として株式を分割いたしました。
- 株式分割の方法  
平成16年3月31日(水曜日)最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。
- 株式分割の効力発生日  
平成16年5月20日(木曜日)が効力発生日です。この日以降、発行済株式総数は54,540千株となっております。

## 会社概要

商号	NECフィールドイング株式会社	売上高	2,506億円 (平成16年3月期実績)
本社所在地	東京都港区三田一丁目4番28号	従業員数	6,953名 (平成16年3月末現在)
資本金	96億7千10万円 (平成16年3月末現在)	拠点数	436拠点 (平成16年3月末現在)
代表者	代表取締役社長 富田 克一	主要取引銀行	三井住友銀行 住友信託銀行

## 事業領域

- コンピュータ・ネットワークシステムのハードウェアおよびソフトウェアのインストールサービス、メンテナンスサービス
- コンピュータ・ネットワークシステム導入時のコンサルタントおよび関連諸工事の設計、施工、監督、請負
- コンピュータ・ネットワークシステム運用業務のアウトソーシングサービス
- コンピュータシステムのオペレーション教育や運用教育のトレーニングサービス
- コンピュータ関連用品、ネットワーク関連機器およびオフィスファニチャー等の販売
- パソコンおよび周辺機器のパーソナルユーザサポート

## 取締役及び監査役

(平成16年6月29日現在)

代表取締役	富田 克一	取締役	藤江 一正	常勤監査役	金井 一成
取締役	大森 祐三	取締役	高久田 博	常勤監査役	西川 法一
取締役	伊藤 雅明			監査役	板澤 幸雄
取締役	橋本航三郎			監査役	妹尾 賢治

## 執行役員

(平成16年6月29日現在)

社長	富田 克一	執行役員	佐藤 勝治	執行役員	田中 睦男
取締役常務	大森 祐三	執行役員	藤田 昌弘	執行役員	坪 尚義
取締役常務	伊藤 雅明	執行役員	奥山 忠信	執行役員	木村 義行
取締役常務	橋本航三郎	執行役員	小田 芳明		
執行役員常務	大森 義夫	執行役員	水谷 忠司		

## 決算期

毎年3月31日

## 定時株主総会

毎決算期の翌日から3ヵ月以内

## 上場取引所

東京証券取引所 (一部)

## 基準日

毎年3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

## 配当金受領株主確定日

●利益配当金 毎年3月31日

●中間配当金 毎年9月30日

## 公告掲載新聞

日本経済新聞

ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、当社のインターネット・ホームページ (<http://www.fielding.co.jp>) において提供します。

## ホームページアドレス

下記のURLで、最新のIR情報を確認することができますので、ご利用下さい。

<http://www.fielding.co.jp/ir/index.html>

## 株式事務取扱場所

●名義書換代理人  
大阪府中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

●同事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

●同取次所  
住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

●各種照会先  
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(住所変更等用紙のご請求)

☎ 0120-175-417

(その他のご照会)

☎ 0120-176-417

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

## ■アンケートのお願い■

当社では、株主の皆さまとのコミュニケーションを充実させていきたいと考えております。是非、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

なお、ご協力いただきました先着500名の方に薄礼を送付させていただきます。

## 【株主の皆様へのアンケートのお願い】

### Q1 どこで当社をお知りになりましたか？

- お客さまとして  証券会社  新聞・雑誌記事  
 ホームページ  その他 ( )

### Q2 当社の株主になっていただいた時期はいつごろですか？

- 平成14年9月  平成14年中  平成15年中  平成16年から

### Q3 本報告書の内容はご理解いただけただけでしょうか？

事業報告書内容	理解できた	理解し難い
ハイライト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
トップメッセージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
主要指標の推移	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
トピックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
営業の概況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
平成17年3月期の事業展開	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連結財務諸表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
単独財務諸表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
株式の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会社概要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### Q4 当社の株式を買い付けられた理由は何でしょうか？ (複数可)

- 将来性  収益性  経営方針  事業内容  
 株価の割安感  その他 ( )

### Q5 今後の当社株式にどのような方針をお持ちですか？

- 売却  長期保有  その他 ( )  
上記方針を決定する判断材料は何ですか？ (複数可)  
 株価  配当  将来計画  業績  株主優待  
 その他 ( )

### Q6 当社にどのような株主優待制度を希望されますか？

### Q7 当社からの情報取得方法は何を希望されますか？

- ホームページ  郵便物  IR広告  
 その他 ( )

### Q8 事業報告書に希望するテーマなどをお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

株主の皆さまからいただきました個人情報につきましては、当社の「個人情報保護ポリシー」に基づき保護いたします。当社の「個人情報保護ポリシー」につきましては、以下のURLをご参照願います。  
<http://www.fielding.co.jp/personal/index.htm>

郵便はがき

料金受取人払

108-8790

111

高輪局承認

1073

差出有効期間  
平成17年1月  
28日まで有効  
(切手不要)

東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル

NECフィールドディング株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部 行



ふりがな  
氏名 性別 男・女

ご住所 〒 (都・道・府・県)

電話番号

年齢 19歳以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

所有株式数 100株 ~ 299株 300株 ~ 499株  
500株 ~ 999株 1,000株以上

**FIELDING**

NECフィールドディング株式会社

コーポレート・コミュニケーション部  
〒108-0073 東京都港区三田一丁目4番28号 三田国際ビル  
TEL 03-3452-7093 FAX 03-5442-3682

**2100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この事業報告書は大豆油インキで印刷しています。